

# NEWS LETTER #18

## 日本看護倫理学会 第18回年次大会のご案内

### 「利他」の倫理

2025年5月17日(土)・18日(日)

神戸国際会議場

2025年5月17日(土)、18日(日)、神戸国際会議場にて第18回年次大会を開催します。大会テーマは「『利他』の倫理」としました。大辞泉では、「利他とは、自分のことよりも他人の幸福を願うこと」と説明しています。私たち看護者は、ケアを必要とする人、すなわち患者が目の前に現れた時、自分のことよりも患者を優先させることがあるのではないのでしょうか？それが「利他」の本質なののでしょうか？

基調講演には、「『利他』とは何か？」の著者である伊藤亜紗先生にご登壇いただき、犠牲的ではない「利他」の有り様を考えたいと思います。教育講演3題、シンポジウム2題、パネルディスカッション2題の講演者も他者の幸せのために活躍されている方々です。そして、皆様の日々の実践の中にある「利他」について共有していただければと思っています。多くの演題発表および大会への参加をお待ちしています。

第18回年次大会長 ウイリアムソン 彰子  
神戸大学医学部附属病院 副看護部長

#### 【演題募集について】

募集期間：2024年11月20日(水)正午～2025年1月22日(水)正午

※筆頭発表者は、日本看護倫理学会の会員、または申込時点で入会手続き中の方に限ります

※本大会は発表者、共同発表者、を含めまして、会員非会員に限らず大会の参加登録が必要となります

年次大会ホームページ



## 日本看護倫理学会 第17回年次大会開催のご報告

2024年6月22-23日、東京のお茶の水にある、東京医科歯科大学（現：東京科学大学）にて、【あなたをささえる わたしもまもられる 倫理的環境】と題し、第17回年次大会を開催いたしました。参加者はオンデマンド配信を含めて700名となり、対面の会場ではさまざまな倫理的課題について熱心に、そして活発に討論される姿が見受けられ、盛況となりました。会場、オンデマンドでご参加いただいた皆さまに心から感謝いたします。日々の活動は、臨床、教育、研究など様々な現場となっていますが、倫理に向き合い、語り合い、分かち合える場となったのであれば、主催者としてはうれしい限りです。また次回の年次大会in神戸でお会いできることを楽しみにしています！

第17回年次大会長 小笹由香  
東京科学大学 保健衛生学研究科 リプロダクティブヘルス看護学 准教授

# 活動状況報告

## 理事会 理事長 前田樹海

今年度は、看護倫理カンファレンスファシリテーター養成事業や研究助成事業、研究倫理審査委員会の設置などの新規事業を立ち上げました。会費の値下げは現在検討中で、次回社員総会で提案予定です。今後とも本学会へのご支援をよろしくお願いいたします。

## 編集委員会 委員長 山田聡子

編集委員会では、「事例報告・実践報告」に関する「投稿手引き」の内容を改訂しました。「事例報告・実践報告」は倫理に関する事例や実践を共有するための重要な報告となります。編集委員会は「事例報告・実践報告」の投稿者のみなさまを支援し伴走する役割を務めます。みなさまからのご投稿をお待ちしております。

## 広報委員会 委員長 中村充浩

各種団体からの後援・共催依頼へ対応すべく、規程の整備やNEWS LETTERの発行、学会ホームページ等での情報発信をすすめております。引き続き、会員の皆さまはもちろん、広く社会に看護倫理の理解を深める活動を続けてまいります。

## 学術活動推進委員会

委員長 麻原きよみ 副委員長 相原ひろみ

本学会では、今年度から研究助成事業を開始しました。本委員会では、第17回年次大会において研究助成制度と具体的な申請方法等についての交流集会を開催し、周知に努めました。結果、皆様からご応募いただくことができました。ホームページやマイページに申請方法がありますので、来年度もぜひご応募ください。

## 臨床倫理ガイドライン検討委員会

委員長 竹之内沙弥香

当委員会主催の看護管理者応援研修「看護の原点に立ち戻る：どのようにとりくむことが倫理的な看護か」を2025年2月23日に京都大学で開催します。本研修では、高齢者看護や身体拘束にまつわる倫理的課題を共有し、実践に活かせる方策を探ります。会員は参加費無料です。ぜひお問い合わせの上ご参加ください！  
(お申込みは右QRコードから)



## 課題検討委員会 委員長 麻原きよみ

本委員会は、看護職および諸団体が発信する看護倫理の情報収集に努め、課題解決に向けて検討し、諸団体への提言を含めた活動をするを目的としています。また、webをとおして寄せられた相談に対応しています。本年度は、本学会の会員増のための検討を進めました。

## 看護倫理カンファレンスファシリテーター養成事業検討委員会

委員長 ウイリアムソン 彰子

令和6年10月に第1回目のe-learning講座（Step1）の配信を開始しました。現在約120名の方が受講をしています。Step1を修了した方を対象として、令和7年2月9日に集合研修にてファシリテーションスキル研修（Step2）を開催します。現場の倫理カンファレンスが活性化することを目指して、フォローアップの機会を設けたいと思いますので、多数のご参加をお待ちしています。

## 研究倫理委員会 委員長 八尋道子

学会員の研究活動の支援を目的に、2024年度4月にスタートした新しい委員会です。幅広く研究倫理全般にかかわる事項を所管します。まずは、所属機関に研究倫理審査組織（IRB）がない場合などを審査対象とする研究倫理審査委員会を組織しました。近日中に申請方法等を学会HPでご案内します。どうぞご利用ください。

## JANA担当 担当 八尋道子

日本看護系学会協議会（Japan Association of Nursing Academies: JANA）からの情報を会員の皆さまへ発信しています。協議会活動の全体像は右QRコードよりご参照いただけます。



## 会計担当 担当 田中真木

2024年度予算案が理事会で承認されました。学会員を対象とした研究助成や看護倫理カンファレンスファシリテーター養成事業の運営に向けた予算が計上されています。今後も会員皆様のサービス向上を目指した活動への還元を目指します。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

## 庶務担当 担当 中村充浩

庶務担当は、理事会や社員総会、会員総会のほか、学会内の様々な事務が円滑に進むように調整等を行っています。今年度は、過去の年次大会抄録の書誌情報を、学会ホームページや論文データベースからアクセスできるよう整備しました。

## 監事 河原宣子 長谷川美栄子

理事の職務の執行を監査し、滞りなく執行されていることを確認し総会にて監査報告を行いました。すべての理事会に出席（ズーム設定不備により1回のみ動画視聴）し、議事録を確認し記名押印しました。重要な案件に対して、理事会メンバーはZoomによる理事会、メールによる意見交換を真摯に行っていました。

## MedicalFinder学会員特別アクセス権

本学会の学会員はMedicalFinderの特別アクセス権を利用できます。2025年用のID/パスワードは以下の通りです。

ID: \*\*\*\*\* パスワード: \*\*\*\*\*

ID/パスワードはお手元に郵送したNEWSLETTERに記載しています